土質調査・解析（基礎および演習） 時間割

※ 時間割（内容）は変更となる場合があります。　　令和7年9月2日（火）～3日（水）

1　日　目			
9:35 ～ 9:40	オリエンテーション （05分）		定員：80人
9:40 ～ 10:50	地盤調査の基礎の基礎 （70分）	・土の基礎的な話 ・砂と粘土の力学的な違い ・有効応力と全応力 ・N値の利点、欠点 ・土のサンプリングの上手・下手	（一社）建設コンサルタンツ協会
11:00 ～ 12:00	土質調査・試験結果の解釈 （60分）	・解釈で何が変わるか ・解釈を間違った事例 ・生データーの吟味の重要性 ・工学的に正しい地盤のモデル化 ・錯覚に惑わされないために	
12:00 ～ 13:00	昼　食		
13:00 ～ 14:00	地震、土の締固め、 岩級区分、三軸圧縮試験 （60分）	・地震のメカニズム、液状化（ビデオ） ・土の種類ごとの締固め試験方法 ・土の種類による管理方法の区別 ・三軸圧縮試験の種類と適用土質 ・cとΦの意味するところ ・岩級区分とは？ ・各岩級の特徴（特にD級岩盤）	（一社）建設コンサルタンツ協会
14:10 ～ 15:10	基礎や盛土の失敗事例 （60分）	・なぜ失敗するのか？ ・実際の失敗事例より具体的に解説 ・杭の沈下、軟弱地盤上の盛土のすべり、沈下対策の失敗、などなど	
15:20 ～ 16:20	地盤から見た合理的設計・施工事例 （60分）	・地盤の特徴に合わせた調査試験の必要性 ・新北九州空港連絡橋での事例 ・互層地盤の杭の周面摩擦力 ・未圧密地盤での盛土事例 ・調査と設計の融合の必要性	
16:30 ～ 17:00	土壌汚染対策法について （30分）	・土壌対策汚染法の概要	（一社）建設コンサルタンツ協会
2　日　目　（演　習）			
9:40 ～ 12:00	**設計演習** ・地滑り解析、対策工の設計 ・盛土による増加応力の求め方 （140分）	問題および解き方の説明 ①地滑りの安定解析 ・岩盤の強度定数の考え方 ・c、φ逆算法 ・対策工設計の考え方（アンカー） ②増加応力の計算法 ・オスターバーグの図表の使い方 ・盛土から離れた位置での増加応力の求め方	（一社）建設コンサルタンツ協会
12:00 ～ 13:00	昼　食		
13:00 ～ 16:50	**設計演習** ・直接基礎の安定照査 ・軟弱地盤解析（特に沈下） （230分）	問題および解き方の説明 ①直接基礎の設計 ・基礎とは（定義、種類、実績など） ・基礎の安定照査項目（滑動、転倒、沈下、支持力） ・直接基礎の常時・地震時の安定照査 ②軟弱地盤の沈下解析 ・沈下量、沈下時間の計算 ・残留沈下量 ・圧密促進（サンドドレーン）の設計	（一社）建設コンサルタンツ協会
16:50 ～ 16:55	事　務　連　絡 （05分）	・アンケート	

主催：（公財）福岡県建設技術情報センター